

家庭総合

(007実教・家庭003・家庭総合 自分らしい生き方とパートナーシップ)

レポート提出回数 **12** 単位数 **4**

必要面接時数 **8**

1. 学習の到達目標と取り組み

目標	人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などに関する知識と技術を総合的に習得させ、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
目標に向けての具体的な取り組み	1 人間の健全な発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義・家庭と社会とのかかわりについて理解する。 2 生活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して家庭や地域社会の向上のため努力する態度と能力を身につける。

2. 年間学習計画と評価方法

月	内容のまとめ	主な学習目標と学習活動	単元・題材	レポート		スケーリング	Aテスト日と範囲	評価方法
				回数	期限			
4月	第1章自分らしく生きる人とかかわって生きる	学習の意義や学習方法について理解する。各ライフステージの特徴と課題について理解する。青年期の課題である自立や男女の平等と相互協力などについて認識する。家庭の機能と家族関係、家族・家庭と法律、家庭生活と福祉について理解する。生活設計の立案を通して、自己の生き方や将来の家庭生活と職業生活の在り方を考える。	家庭総合を学習する意義 ①人の一生と発達課題 ②家族・家庭と社会 ③生活設計 ④家族と法律	No.1	5/2	4/28	第1回 7/7 レポート No.1-4 教科書 P.8-49 P.231-233	レポート・テスト・面接授業を通して、観点別に項目を設けて、評価する。
5月				No.2	5/24			
5月				No.3	6/7			
6月	第2章子どもとかかわって生きる	母体の健康管理と子どもの誕生、子どもの心身の発達と特徴及び子どもの生活と遊びについて理解する。子どもの発達と環境とのかかわりについて認識する。親の役割と子どもの人間形成及び親の保育責任とその支援について理解する。子どもを生み育てることの意義について考え親の役割の重要性を認識する。児童福祉の基本的な理念や、子どもを取り巻く環境の変化や課題について考える。	①子どもの発達 ②親の役割と保育 ③子どもの福祉	No.4	6/21	8/4 8/25	第2回 10/20 レポート No.5-8 教科書 P.50-144	レポート・テスト・面接授業を通して、観点別に項目を設けて、評価する。
7月				No.5	8/9			
9月	第3章高齢者とかかわって生きる	加齢に伴う心身の変化と特徴について理解する。高齢者の生活の現状と課題について認識し、適切なかかわりについて考える。高齢社会の現状と課題について考え、高齢者福祉の理念と高齢者福祉サービスについて理解する。日常生活の介助を体験的に学び、高齢者介護の心構えやコミュニケーションの重要性を認識する。	①高齢者の心身の特徴 ②高齢者の福祉 ③高齢者の介護の基礎	No.6	8/30	9/15	第3回 2/16 レポート No.9-12 教科書 P.146-230	レポート・テスト・面接授業を通して、観点別に項目を設けて、評価する。
10月				No.7	9/20			
11月	第4章食生活・衣生活・住生活	栄養、食品、調理などについて理解し、必要な技術を修得してよりよい食生活をおくることができるようになる。被服材料、被服の構成、被服製作、被服整理などについて科学的に理解する。衣生活に必要な技術を習得して充実した衣生活を営むことができるようにする。住居の機能、住空間の計画、住環境の整備などについて科学的に理解する。住生活に関心をもち、必要な技術を習得して充実した住生活を営むことができるようにする。生活文化の背景について理解し、それを伝承し創造する意欲をもつ。	①食生活の科学と文化 ②衣生活の科学と文化 ③住生活の科学と文化 ④生活文化の伝承と創造	No.8	10/4	11/17	第3回 2/16 レポート No.9-12 教科書 P.146-230	レポート・テスト・面接授業を通して、観点別に項目を設けて、評価する。
12月				No.9	11/22			
12月				No.10	12/6			
1月	第5章消費生活と資源・環境	消費行動における意思決定の重要性を理解する。家庭経済と国民経済とのかかわりについて理解し、家計管理の重要性について認識する。消費生活の現状と課題について理解する。消費者として主体的に判断し責任をもって行動できるようにする。現代の消費生活と資源や環境とのかかわりについて理解する。	①消費行動と意思決定 ②家庭の経済生活 ③消費者の権利と責任 ④消費行動と資源・環境	No.11	12/20	12/15	第3回 2/16 レポート No.9-12 教科書 P.146-230	レポート・テスト・面接授業を通して、観点別に項目を設けて、評価する。
2月				No.12	1/29			
3月						1/26		

3. 評価の観点

評価の観点	観 点 の 内 容
関心・意欲・態度	家族の生活について関心をもち、前向きに取り組む。
思考・判断	生活上の課題を解決するために思考し、判断できる。
技能・表現	家庭生活を営むための基本的な技術を身につけている。
知識・理解	生活に関する基本的な知識を身につけ、家庭生活が総合的に理解ができる。